

Epistra

エピストラ

Accelerate your R&D

解決したい課題

生命科学の研究開発には 長い時間とコストがかかる

試行錯誤に
ゴールがあるのか
見えない...

競争が
激しい...

バイオ実験には
毎回高額な試薬、
サンプルが必要

上市までには
長い時間と膨大な
費用がかかる



最先端の機械学習技術により
研究開発期間の短縮・収率の向上が可能！

Epistra Accelerate [製品の概要と特長]

弊社の自動実験最適化ソリューション Epistra Accelerate



適用

アウトプット
最適化済みのプロトコル

効果
生産コストの削減
研究開発期間の短縮

実行結果

最適条件

過去のデータもAIで解析
可能な形式にクレンジン
グし、再利用性を向上

実験自動化装置

(適用例)

再生医療

抗体医薬

タンパク
素材

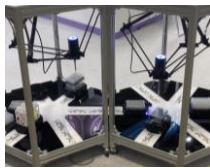
過去の実験
データ

実験自動化装置はどれも対応可能

(以下は現在対応済)



RBI まぼろ



Molcure HAIVE



自動培養装置

現在、自動化装置を導入されていない実験系でも
ご支援・使用可能です。是非ご相談ください。

CASE STUDY

網膜色素上皮(RPE)細胞分化プロトコルの
自動最適化 [理化学研究所 高橋政代先生]

目的：iPS細胞から臨床グレードの
RPE細胞への分化効率を向上させる

Epistra
Accelerate

計画
培養条件
自動最適化

実行

Bad

Good

評価

成果：RPE細胞の収率向上に成功
⇒ 製造コストの低減。開発期間
を5年から半年(175日)に短縮

研究開発の期間を大幅に短縮